

教科・科目		対象学年	単位数	教科書
理科・科学と人間生活		1	2	数研出版・科学と人間生活
科目の概要と目標		<ul style="list-style-type: none"> ・自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。 ・観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。 ・自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。 		
学期	単元	学習内容	到達度目標	
1 学期	序編「科学技術の発展」	・生きる 人間生活の歴史	・科学技術の発展に伴って、今日の人間生活がどのように変化してきたかについて理解することができる。	
	第1編 物質の科学 第1章 材料とその再利用	<ul style="list-style-type: none"> ・金属と人間生活 ・身のまわりの金属と精錬 ・金属のさびとその防止 ・プラスチックとその性質 ・資源の再利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の生活では多くの金属が私たちの生活を支えていることを理解することができる。 ・プラスチックの利用例と、一般的な性質を理解することができる。 ・持続可能な社会を目指すために、資源の有効活用に向けた3Rなどの考え方を理解し、生活の中で実践可能なことについての話し合いに意欲的に参加することができる。 	
	第2章 衣料と食品	<ul style="list-style-type: none"> ・衣料と繊維 ・天然繊維、化学繊維 ・食品と栄養素 	<ul style="list-style-type: none"> ・原料や成りたちによって分けられる繊維の分類について理解し、それらの繊維がどのような用途で使用されることが多いか考えることができる。 ・デンプン・タンパク質・油脂について、消化と吸収のしくみを理解することができる。 	
2 学期	第2編 生命の科学 第1章 ヒトの生命現象	<ul style="list-style-type: none"> ・遺伝情報とDNA ・血糖濃度とホルモン ・免疫と健康 	<ul style="list-style-type: none"> ・遺伝子の本体であるDNAの構造について理解することができる。 ・ヒトのからだには、病原体を排除する免疫が備わっていることを理解することができる。 	
	第2章 微生物とその利用	・微生物とその発見の歴史	<ul style="list-style-type: none"> ・身のまわりの微生物を観察する実験に意欲的に取り組むことができる。 ・実験を通して、身のまわりに微生物が存在していることを理解することができる。 	
	第3編 光や熱の科学 第1章 光の性質とその利用	<ul style="list-style-type: none"> ・光の色 ・光の直進と反射 ・光の屈折と全反射 	<ul style="list-style-type: none"> ・白色光はあらゆる色の光が混ざったものであることを理解することができる。 ・基本的な光の進み方（光の直進性、光の速さ）について理解することができる。 ・反射した光の進み方について理解することができる。 	
第2章 熱の性質とその利用	<ul style="list-style-type: none"> ・温度と熱運動 ・熱の伝わり方 ・熱エネルギーの利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・温度が何を表すものなのかを理解することができる。 ・熱伝導、対流、熱放射では、それぞれどのように熱が伝わるのか話し合い、考えを深めることができる。 ・エネルギーには、いろいろな種類があることを学習し、エネルギーは相互に変換されることを実験を通して理解することができる。 ・エネルギーの変換に関する実験に意欲的に取り組むことができる。 		

3 学 期	<p>第4編 地球や宇宙の科学</p> <p>第1章 太陽と地球</p> <p>第2章 自然景観と自然災害</p> <p>終編 これからの科学と人間生活</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の四季と気象災害 ・地球を出入りするエネルギー ・日本列島とプレート ・地震のしくみと地震活動 ・課題研究の進め方 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本列島周辺の高気圧分布や季節風の季節ごとの変化と四季の気候の特徴を理解することができる。 ・大気の地球規模での循環は、地球を出入りする太陽放射エネルギーによって引き起こされることを理解することができる。 ・日本周辺のプレート分布について理解する。 ・地震発生のしくみを理解することができる。 ・住んでいる地域に関係の深い災害のハザードマップを活用し、災害時の対応について考える活動に意欲的に取り組むことができる。 ・調べたことをまとめ、発表する技術と方法について理解することができる。 ・自分の考えを相手に正しく効果的に伝える方法について考え、発表方法を工夫することができる。
-------------	--	--	--